

第2回男鹿市地域公共交通活性化協議会会議録

日時： 平成30年10月25日（木） 午後1時30分

場所： 男鹿市役所 3階 第一会議室

第2回男鹿市地域公共交通活性化協議会

平成30年10月25日（木） 午後1時30分

出席委員（14人）

3号委員 阿部 哲也

4号委員 旭谷 明 佐々木 明 敦賀 文雄 武内 信彦

5号委員 船木 宏 白幡 克見 高野 進 佐沢 篤

 佐々木 一義 吉田 勇之介 三浦 金悦

6号委員 日野 智

7号委員 畠山 喜美

代理出席（3人）

（委員名） （代理名）

2号委員 藤原 亨 吉尾 千秋

4号委員 酒井 宏彰 外山 章

 北嶋 透志雄 糸井 博

欠席委員（8人）

1号委員 長澤 秀博

4号委員 佐藤 徹 藤谷 学 久保市 隆

5号委員 小玉 正富 仲村 盛吉 海道 利夫

7号委員 笠井 潤

出席事務局職員

総務企画部長 船木 道晴

企画政策課長 八端 隆公

企画政策課主幹 村井 千鶴子

企画政策課主事 加賀 有陽

男鹿市地域公共交通網 株式会社ケー・シー・エス

形成計画策定調査業務

受託事業者

平成 30 年度第 2 回

男鹿市地域公共交通活性化協議会総会

日時 平成 30 年 10 月 25 日

13 時 30 分より

場所 男鹿市役所 3 階 第一会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 議事録署名委員の選任について
- (2) 男鹿市地域公共交通網形成計画策定に係る
専門部会の設置について

3. 報告事項

- (1) 男鹿市地域公共交通網形成計画策定調査の経過報告について

4. その他

- (1) 今後のスケジュールについて

5. 閉 会

(午後 1 時 30 分開会)

○事務局（八端）

それでは定刻を過ぎましたので、ただいまから平成 30 年度、第 2 回男鹿市地域公共交通活性化協議会総会を開催いたします。開会にあたりまして、資料のご確認をお願いいたします。担当から確認させます。

○事務局（加賀）

事前にお届けしております資料のほか、お手元には、次第及び委員名簿を配布しております。資料の中に落丁等ございましたら、進行の途中でもお申し出ください。

○事務局（八端）

それでは、次第により進めさせていただきます。ここからの議事進行につきましては、会議規則により、船木副会長よりお願いいたします。

○船木副会長

暫時、代理で進行を務めさせていただきます。何分不慣れではございますが、よろしくお願いいたします。それでは、議事を進めてまいります。まず、議事の第 1 でございます。協議会規約の規定により、2 名の議事録署名委員を選任することとなっております。選任方法について、いかがいたしましょうか。

～事務局一任の声～

○事務局（八端）

それでは、事務局からご提案申し上げます。秋田観光バス株式会社の敦賀委員と男鹿市建設課の畠山委員とを推薦したいと思います。

○船木副会長

事務局より敦賀委員と畠山委員を推薦する声がございましたので、ここでお諮りいたします。両名を議事録署名委員とすることにご異議ございませんか。

～異議なしの声～

○船木副会長

それでは、異議がないようですので、議事録署名委員は、敦賀委員と畠山委員に決定されました。よろしくお願いいたします。それでは、議事の 2、男鹿市地域公共交通網形成計画策定に係る専門部会の設置についてに移ります。事務局から説明願います。

○事務局（加賀）

では、私の方から説明をさせていただきます。このたび男鹿市地域公共交通網形成計画を策定するに当たり、協議会の規約に基づきまして、計画素案等の検討を行うための専門

部会を設置したいと考えております。専門部会に関しましては、現在の幹事会をベースとし、庁内の関係各課を加えた形で組織することを考えております。

専門部会の開催日につきましては、部会員となられる委員の皆様の負担軽減を考慮いたしまして、幹事会と同日に開催することを予定しております。開催日程については、11月中旬から下旬に第1回目を、2月中に第2回目を開催予定でございます。部会の構成につきましては、お配りの資料のとおり、幹事会に庁内から観光課、福祉課、介護サービス課、学校教育課、男鹿みなと市民病院事務局を加える形といたします。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

○船木副会長

ただいま、事務局から説明がありましたが本案についてご異議等ございましたらお願いします。

～異議なしの声～

○船木副会長

御異議がないようですので、男鹿市地域公共交通網形成計画策定に係る専門部会の設置については、本案のとおり承認されました。以上で議事については終了となります。ここで進行を日野会長へ交代したいと思います。

○日野会長

引き続き、男鹿市地域公共交通網形成計画策定調査の経過報告に移ります。本事項については、調査業務の受託事業者である株式会社ケー・シー・エスより説明及び進行を願います。

～株式会社ケー・シー・エス説明（アンケート調査・住民ヒアリング概要）～

○事務局（加賀）

今回の計画策定におきましては、各調査結果を踏まえた施策検討を、庁内検討会も立ちあげながら行っているところでございます。このあと、計画素案を11月の専門部会において協議いただき、総会にお諮りさせていただくこととなります。皆様にもお力添えをいただく場面が多くなりますが、何卒よろしくお願いいたします。

○武内委員

学生アンケートで回収率が100%を超える箇所がありますので、その確認と、北浦地区の住民意見で、観光交通であるなまはげシャトルを地元住民も活用できるようにというものがありましたが、生活路線に観光客の方を乗せる方向も併せて検討できるのでしょうか。

○株式会社ケー・シー・エス

アンケートにつきましては、想定票数に加えて予備配布分での回答があったため、回収率が 100%を超える箇所がでてきておるものです。実質の生徒数から算出される回収率は 100%となっております。

○事務局（加賀）

なまはげシャトルにつきましては、その速達性から、快速便的に利用できればということで、住民の方からご意見をいただいたところです。当然、現在の路線バスの観光利用につきましても、なまはげシャトルとの連携を軸としながら、検討してまいります。

○日野会長

調査の内容から、利用者の方が行きたいところに行けていない状態が発生しているのではないかと思います。利用者要望として、目的地までの交通の整備が最も強いため、その改善を実施したうえで、運賃等支払方法の検討を行っていくべきと考えられます。運賃等も大事ですが、まずは路線のネットワークをどう組んでいくか、特に男鹿市は地域ごとの特性の違いがはっきりしているので、十分に考えていただきたい。

他にご意見等がなければ、今後のスケジュールについて、事務局より説明願います。

○事務局（加賀）

今後のスケジュールでございますが、このあと 11 月中旬から下旬をめどに、専門部会及び幹事会の開催を予定しております。その日程次第ではございますが、12 月上旬までには定例の総会を開催したいと考えております。

また、船越線及び潟西線の運行につきまして、経路と運賃部分を書面協議いただきたいと思っております。資料等を追ってお送りいたしますので、よろしくお願いいたします。

○日野会長

それでは以上をもちまして、本日の議事日程を終了いたします。進行に御協力くださいませ、誠にありがとうございました。

○事務局（八端）

これで本日の男鹿市地域公共交通活性化協議会総会を終了させていただきます。大変ありがとうございました。

（午後 2 時 50 分閉会）

会議の次第を記載し、これを相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成30年 月 日

会 長

委 員

委 員